

2 高校生被爆地から平和訴え

国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所は本年度のユニタール青少年大使に、広島市安佐南区のノートルダム清心高2年面出望さん（16）と、中区の広島学院高2年石原駿弥さんが「青少年大使」任命



ユニタール青少年大使に選ばれ、抱負を語る面出さん（左）と石原さん

（16）を選んだ。14日、中区の広島商工会議所で任命状を手渡した。

面出さんは「世界平和に向けて自分ができることを考えたい」。石原さんは「外国について多くのことを学び、同世代に伝えたい」と抱負を語った。核兵器廃絶や国際協力をテーマにした作文を寄せた県内の高校生18人から選ばれた。

青少年大使は、被爆地から平和外交を担う人材を育成することを目的に、2010年度から任命している。任期は1年間。外務省などを訪問する東京での研修や、ユニタールの行事に参加する。（松本恭治）

15 April 2014, Chugoku Shimbun
2 high school students have been selected as UNITAR Youth Ambassador in 2014.